

# 日本獣医エキゾチック動物学会誌投稿規定

1. 投稿論文はエキゾチックペットの臨床やそれに付随する研究、調査に関する英文または和文の総説、原著、短報、症例報告、情報、集会記録トピックス、アイデアなどとする。
2. 筆頭者、共著者は会員・非会員を問わないとする。また、編集委員会は本会の目的に添う原稿を依頼することができる。
3. 本誌への投稿は、会員は無料、非会員は掲載料1件3,000円を徴収する（ただし編集委員会による依頼原稿は無料）。
4. 原稿は印刷とデータで各一部提出し、写真は印刷が鮮明となるような適切な解像度のJPG画像を提出する。
5. Word原稿レイアウトはA4版用紙1枚を400字(25字×16行)とし、行間を十分に開けて楷書体で入力する。原著および総説は図表も含め400字の原稿用紙30枚以内（文献とも）、短報その他10枚以内とする（ただし、説明に必要と思われる図表に関してはこの限りではない）。また必ず文書ファイルと画像をメールないしCD等のメディアを送付（郵送またはデータ便）する（OSに依存しない形式で記録する）。
6. 和文原稿の記述は現代かなづかいとし漢字は常用漢字の範囲にとどめる。
7. 表紙には論文の種別（総説、原著、短報、症例報告、情報、集会記録、トピックス、アイデアなど）を左肩上に朱書きし表題、著者名、所属機関を記す。所属機関名は研究室名、教室名まで記載する。
8. 原稿は、1枚目に要約（原書、総説240語以内、短報120語以内）、キーワード（総説、原著5語以内、短報、症例報告3語以内）を記載する。
9. 2枚目以降に、原著は緒言、材料（対象）と方法、結果、考察、参考文献、症例報告ははじめに、症例、考察、参考文献の順に記載する。
10. 英文原稿の場合、本文とは別に表題、著者名、

所属機関を冠した和文要約（原著および総説では600字以内、短報では200字以内）をつける。

## 11. (内容)

英文固有名詞は最初の一文字のみ大文字とし学名などイタリック体とし下線を付す。

数字は算用数字を用い、度量衡の単位はm, cm, mm,  $\mu$ m, nm, pm, cm<sup>3</sup>, l,  $\mu$ l, kg, mg,  $\mu$ g, ng, pgなどを用いる。

本文中に図表を組み入れる場合、挿入箇所を本文右欄外に指示する。

本文中文献を示す数字は、文節の後に [ ] とする。引用した文献は本文中に順次番号をつけ、本文の終わりに番号の順に従って列挙する。

## 参考文献記載例

### ○英文雑誌

Klocke B, Becker M, Lewis J, Fleischer RC, et al. (2017) Batrachochytrium salamandrivorans not detected in U.S. survey of pet salamanders. *Sci Rep.* 7: 13132-13135.

### ○和文雑誌

坂田好美, 王 宝禮 (2017) 口腔内スピロヘータが確認された犬の歯周炎に対するアジスロマイシンの効果, *日獣会誌*, 70: 659-662.

### ○英文書籍

Divers S. (2006) *Metabolic Bone Diseases*, In: Mader DR. ed. *Reptile Medicine and Surgery*, 2nd ed. pp. 841-851. WS Saunders

### ○和文書籍

平松慶博 (1990) 逆行性腎盂造影法, 大澤 忠編, *新臨床X線診断学*, 第2版, p399-400. 医学書院

Peterson ME. (1985) 猫の甲状腺機能亢進症, 山田隆紹訳, *The Veterinary Clinic of North America*, 獣医臨床シリーズ, 内分泌学に関するシンポジウム, p89-105. 学窓社

12. 投稿原稿は編集委員会において審査を行い、会の目的に添わない場合は変更を求めるか不採用とすることがある。掲載原稿の返却は行わない。

13. 掲載順は編集委員会が決定する。

14. 本規定に定めのない事項は、編集委員会において協議し、これを会長が処理する。
15. この規定の改廃は委員会の議決を経て行う。
16. 本誌に掲載された論文の著作権は、日本獣医エキゾチック動物学会に帰属する。
17. 原稿の送付および投稿に関する照会（文書に限る）は下記宛とする。

日本獣医エキゾチック動物学会事務局  
学会誌編集委員会  
〒174-0051  
東京都板橋区小豆沢2-9-19  
info@jseam.net